ALINCO

アルミ合金製 CSD-L型作業台

組立説明書

このたびはCSD-L型作業台をお買い上げいただきましてありがとうございます。この手すりセットを安全に使っていただくために、注意事項をよくお読みいただき手順に従って組み立ててください。

※組立て前に、部品数量を確認してください。 必要工具 M６用スパナ・M８用スパナ×2

⚠危険「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。

●設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意してください。

⚠警告「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

●組み立てる時はボルトを確実に固定してください。
●使用前にはボルトのゆるみや抜け落ちを確認し、ある場合は締め直してください。
●使用前に必ず点検し、異常のない事を確認してください。
●手すりから身体を乗り出さないでください。
●手すりへ寄りかかったり、足をのせたりしないでください。
●手すりを押したり、引いたりしないでください。
●適応機種以外に取り付けて使用しないでください。
●加工・改造をしないでください。
●CSD-Lの取扱説明書もあわせてお読みください。
●必ず手すりを付けて使用してください。

⚠注意「軽傷を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

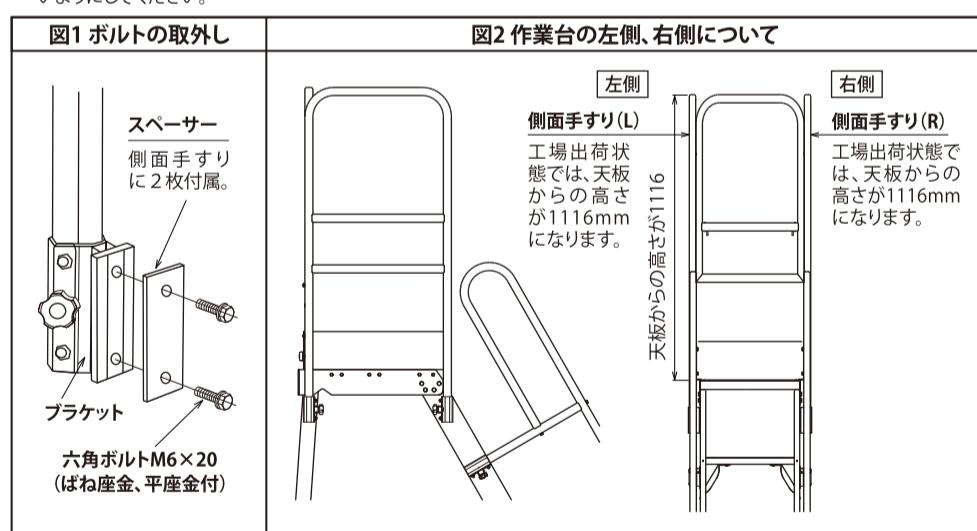
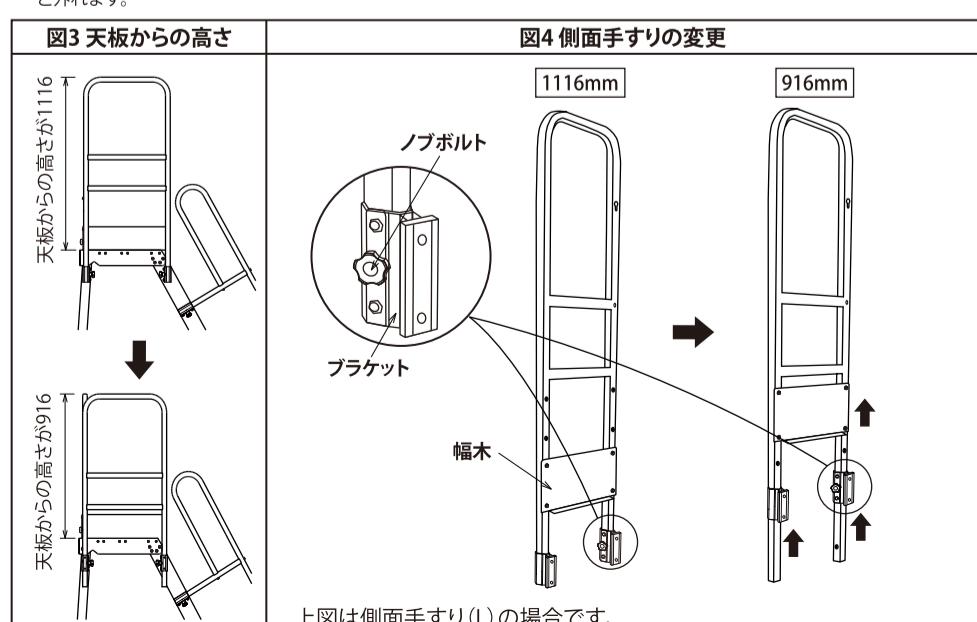
●使用に適した服装で使用してください。
●雨や直射日光があたらない場所に保管してください。

アルインコ株式会社
〒569-8510 大阪府高槻市三島江1-1-1
お客様相談室 0120-302-669
10:00～16:00 ただし12:00～13:00及び土･日･祝を除く

2017052-FS

部品表

部品名称	品番	部品図	部品数量	
昇降面組立	—		1	
背面組立	—		1	
ベース中折れツナギ	—		1	
下部中折れツナギ	—		1	
上部中折れツナギ	—		1	
昇降手すり	240用 CSDKT24 270用 CSDKT27 300用 CSDKT30 330用 CSDKT33 360用 CSDKT36		2	
側面手すり(L)	CSDYTLH	ブラケット	1	
側面手すり(R)	CSDYTRH	ブラケット	1	
背面手すり	CSDHT	操作レバー、ピン	1	
背面幅木	CSDHB	ノブボルトM6×20 ×2	1	
手すりブラケット ※４個は側面手すりに取り付け済み	CSDF1BK		240,270,300 10	330,360 12
六角ボルト M6×20 (ばね座金、平座金付) ※8個は側面手すりの手すりブラケットに取り付け済み	—		240,270,300 20	330,360 24
六角ボルト M8×25	—		40	
ゆるみ止めナット M8	—		24	
ばね座金 M8	—		16	
平座金 M8	—		64	

※１ 側面手すり(L)、(R)に取り付けてあるブラケットには工場出荷時に六角ボルトM6×20(ばね座金、平座金付)が取り付けられています。下記の手順に従って、取り外して使用してください。
※２ 側面手すり(L)、(R)、は作業台の天板からの高さ1116mm、916mmと、どちらかをお選びいただけますが、出荷時には1116mmになるようブラケットが取り付けてあります。916mmにする場合は下記の手順に従って変更してください。
※３ 本製品にはゆるみ止めナットを使用しています。締める際には少々固く感じますがそのまま締め切ってください。

作業台本体取付けの準備について

❶ボルトの取外しについて(ブラケット付きの部品について 図１)

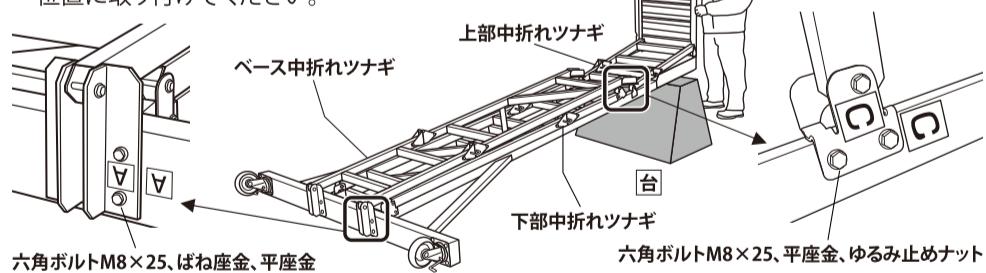
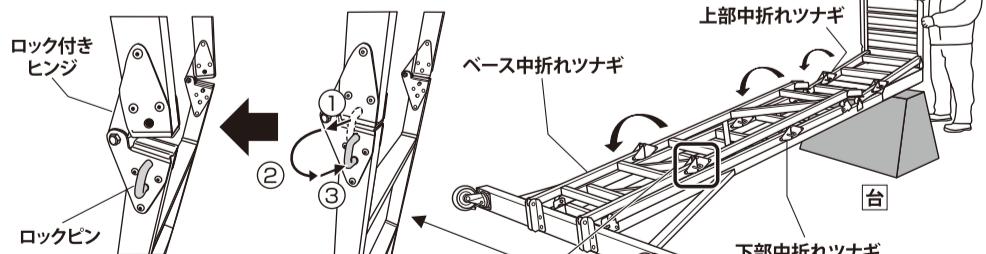
ブラケットから、六角ボルトM6×20(ばね座金、平座金付)を取り外してください。作業台本体への取り付けにはこのボルトを使用します。なお、側面手すり(L)、(R)にはスペーサーを２枚付属しております。同じく本体取り付けに使用しますのでなくさないようにしてください。

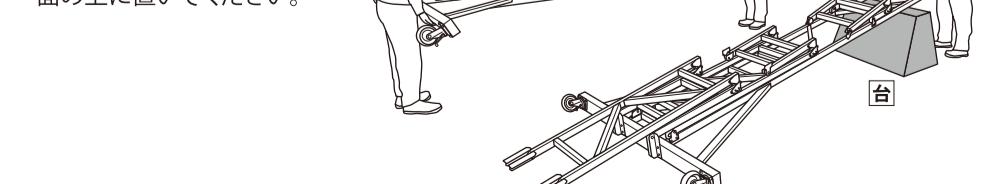
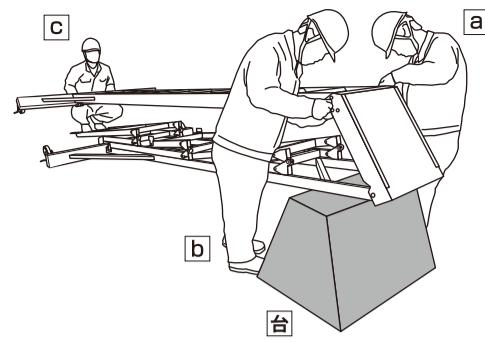
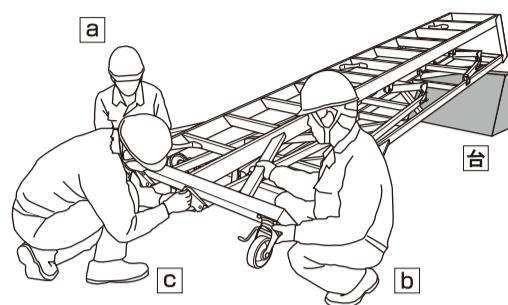
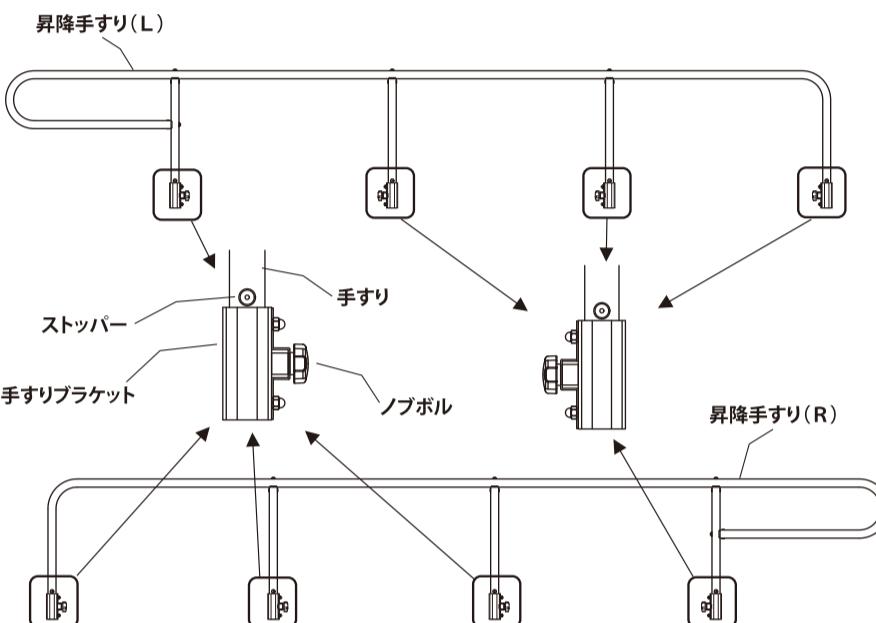
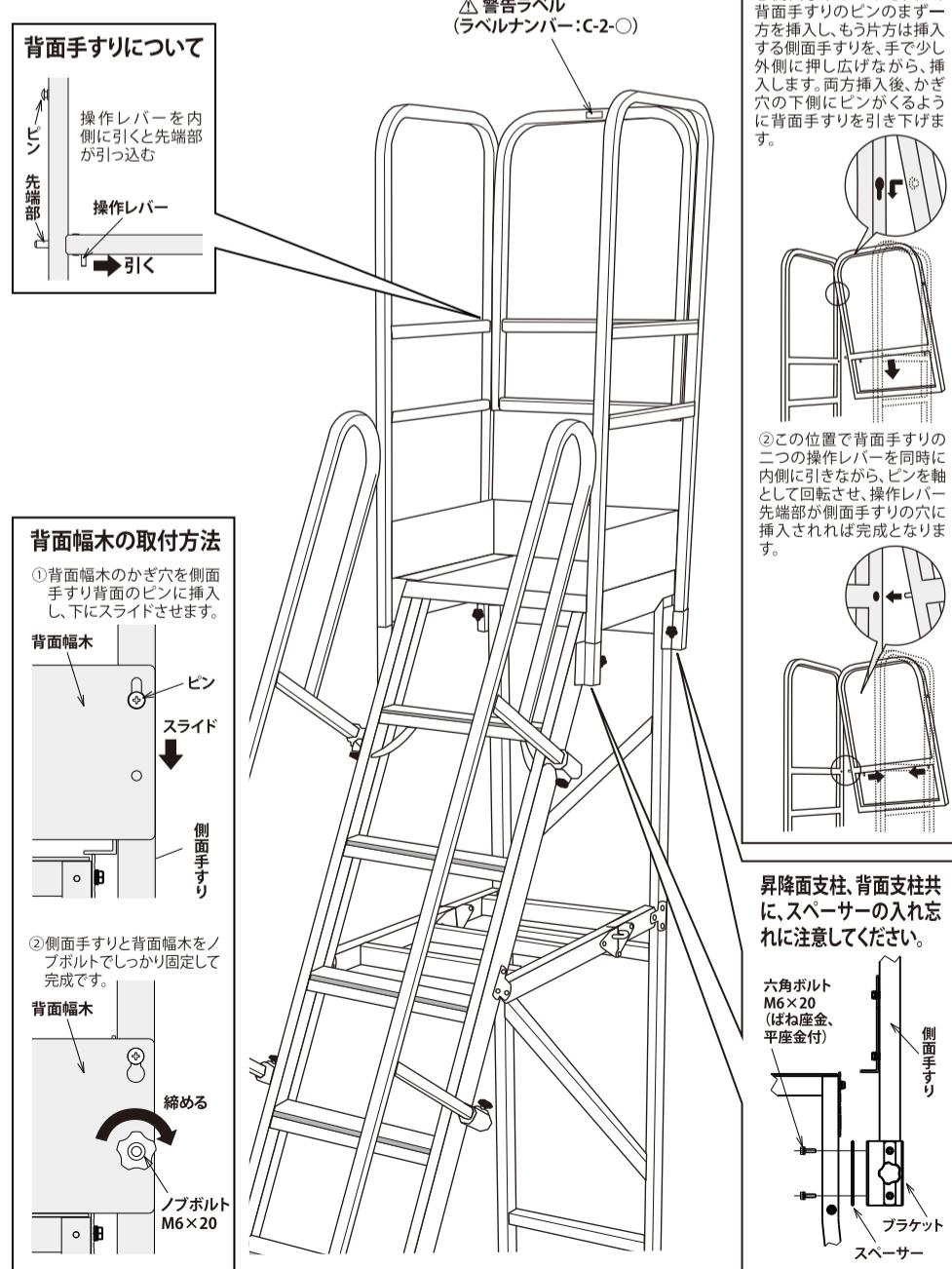
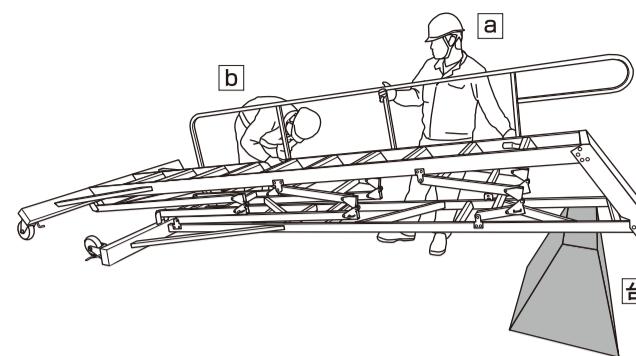
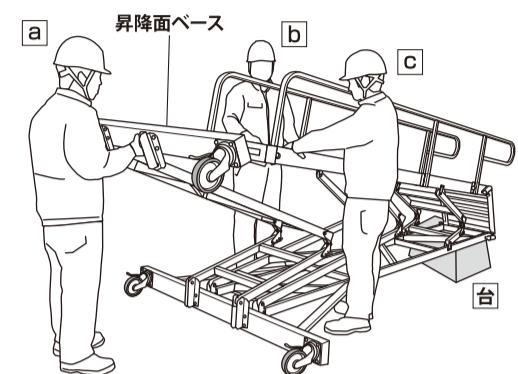
図1 ボルトの取外し　図2 作業台の左側、右側について

❷側面手すり(L)、(R)の天板からの高さを、1116mmから916mmにするときについて

側面手すりはブラケットと幅木を取り外し、下図のように上に移動させて取り付けてください。ブラケットはノブボルトを回すと外れます。

図3 天板からの高さ　図4 側面手すりの変更

上図は側面手すり(L)の場合です。

組立説明書

※必ず３人以上で行ってください。

1.「キャスターのロック忘れ注意ラベル」が下面になるように、背面上部を台の上に置いてください。次に作業者ａは天板を開いて持ち支えてください。

2.ベース中折れツナギを六角ボルトM8×25、ばね座金、平座金で取り付けて下さい。次に下部中折れツナギ、上部中折れツナギを背面へ六角ボルトM8×25、平座金、ゆるみ止めナットで取り付けてください。その際、それぞれの中折れツナギと背面支柱にA、B、Cのラベルが貼付してありますので、同じ文字の位置に取り付けてください。

3.ベース中折れツナギ、下部中折れツナギ、上部中折れツナギの順に、ロックピンを①引き抜き②回転③差込の順に操作し、ロック付ヒンジを折り曲げてください。

4.作業者ｂｃは昇降面を背面の上に置いてください。

5.作業者ｃが昇降面ベースを持ち上げ、作業者ａｂは昇降面を持ち支えながら支柱と天板を六角ボルトM8×25、平座金、ゆるみ止めナットで取り付けてください。

6.作業者ａｂが左右の昇降面支柱を持ち支えてください。作業者ｃがベース中折れツナギを昇降側ベースへ六角ボルトM8×25、ばね座金、平座金で取り付けてください。続いて、作業者ｃが昇降面ベースを持ち支え、作業者ａｂが下部中折れツナギ、上部中折れツナギの順に六角ボルトM8×25、平座金、ゆるみ止めナットで昇降面支柱へ取り付けてください。

7.昇降手すりへ手すりブラケットのノブボルトが図の方向になるように取り付けてください。取り付けはノブボルトが止まるまで引き抜き、手すりブラケットがストッパーに当たるまで差し込み、ノブボルトを締めて固定してください。

11.下図を参照し側面手すり(L)、(R)、背面手すり、背面幅木を取り付けてください。（説明の為、作業台が起きている絵となっていますが、ここまでの流れのとおり寝かした状態で取り付けてください。）

⚠ 警告ラベル
（ラベルナンバー：C-2-〇）

背面手すりについて

ピン
先端部
操作レバーを内側に引くと先端部が引っ込む
操作レバー
引く

背面幅木の取付方法

①背面幅木のかぎ穴を側面手すり背面のピンに挿入し、下にスライドさせます。

背面幅木
ピン
スライド
側面手すり

②側面手すりと背面幅木をノブボルトでしっかり固定して完成です。

背面幅木
締める
ノブボルト
M6×20

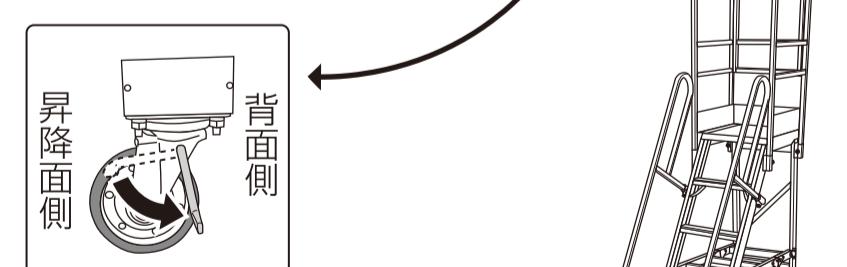
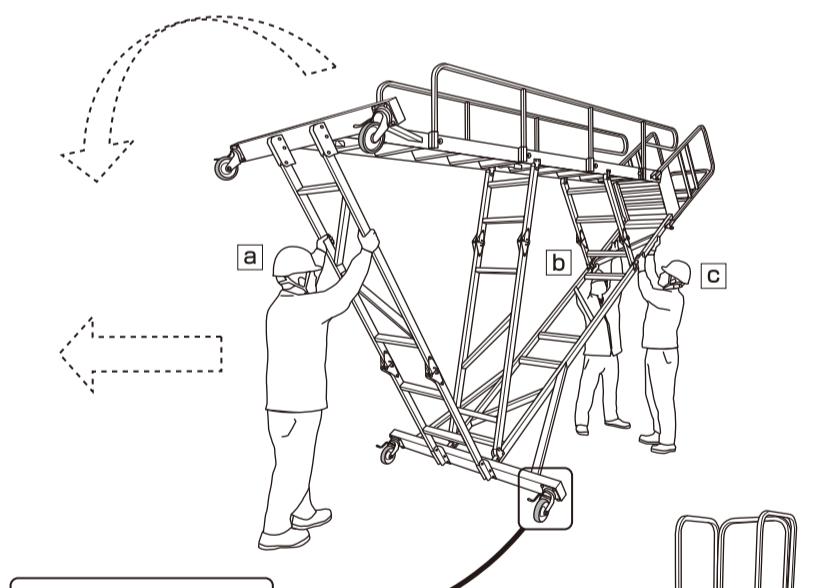
背面手すりの取付け

①側面手すりのかぎ穴に、背面手すりのピンのまず一方を挿入し、もう片方は挿入する側面手すりを、手で少し外側に押し広げながら、挿入します。両方挿入後、かぎ穴の下側にピンがくるように背面手すりを引き下げます。

②この位置で背面手すりの二つの操作レバーを同時に内側に引きながら、ピンを軸として回転させ、操作レバー先端部が側面手すりの穴に挿入されれば完成となります。

昇降面支柱、背面支柱共に、スペーサーの入れ忘れに注意してください。

六角ボルト
M6×20
（ばね座金、平座金付）
側面手すり
ブラケット
スペーサー

8.作業者ａは手すりを持ち支え、作業者ｂが六角ボルトM6×20（ばね座金、平座金付）で昇降面の支柱へ手すりブラケットを取り付けてください。

9.作業者ａが昇降面ベースを持ち上げ、作業者ｂｃが昇降面の支柱をそれぞれ持ち上げます。

10.作業者ｂｃが中折れツナギが直線になるまでさらに支柱を持ち上げます。作業者ａはベース中折れツナギ、下部中折れツナギ、上部中折れツナギの順に、ロックピンを①引き抜き②回転③差し込みの順に操作し、ロック付ヒンジを固定してください。

12.全てのキャスターのロックをかけてください。（自在キャスターの向きは下図を参照してください。）作業者ｂｃが左右の背面支柱をそれぞれ持ち上げて作業台をおこし、作業者ａはベース中折れツナギを持ち支えながら後ろへ下がり、ベース中折れツナギから昇降面ベースへ持ち替えて、ゆっくりと昇降面側のキャスターを着地させてください。

13.ご使用の際は全てのキャスターをロックした状態で昇降してください。